

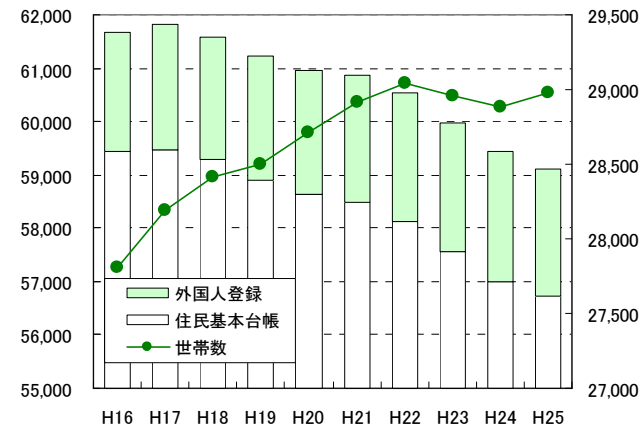
1 福生市の特性

① 概況

福生市は、東京都の多摩西部である武蔵野台地の西側に位置し、東西約3.6km、南北4.5km、総面積 10.24k m²のまちです。市域の約3割を横田基地が占めており、横田基地を除くと、東京都 26 の市の内、2 番目に狭い市となります。

福生市の人口は、平成 25 年 1 月 1 日現在、59,124 人（住民基本台帳の登録に基づく）です。そのうち、2,400 人が外国人登録者です。

■ 図 4 人口と世帯数の推移
(人)



② 広域的な視点から見る福生市の緑と水

奥多摩から東京湾まで続く多摩川が、福生市の西側を通り、多摩川から取水された玉川上水は、福生市を縦断して杉並区まで続きます。武蔵野台地は、多摩川によって形成された2つの河岸段丘※P.100 用語解説によって形作られており、その1つである立川段丘の縁端の立川崖線（がいせん）※P.100 用語解説が、拝島崖線と立川崖線に分かれて福生市を縦断しています。

これら東京都を横断する多摩川と玉川上水の2つの水の軸と立川崖線は、市域を超えて連続しており、緑と水が残る貴重な空間となっています。福生市は、これらの緑と水の空間を狭い市域の中に有し、広域的な視点から見ても、東京の緑と水の骨格を形成する上で、重要な位置にあります。

■ 図 5 広域的な視点から見る福生市の緑と水

